

## 公立大学法人北九州市立大学第 4 期中期目標（骨子案）

### 第 1 中期目標の期間

### 第 2 教育研究の質の向上に関する事項

#### 1 教育

##### （1）学修者本位の教育の推進

- ・ 教学マネジメントに基づいた学修者本位の教育の推進

##### （2）地域や社会に求められる人材の育成

###### 【起業家精神を有する人材の育成】

- ・ 起業家精神（アントレプレナーシップ）を有する人材の育成
- ・ 大学発の優れた技術の実用化を目指した起業環境の整備

###### 【論理的思考力、データ活用力等を持つ人材の育成】

- ・ 数理・データサイエンス・AI 教育
- ・ 専門分野の知識・技能に加え論理的思考力やデータ活用力を有する人材の育成

###### 【次世代研究者の育成】

- ・ 博士後期課程学生の育成
- ・ 魅力的な大学院のあり方等について検討

##### （3）入試制度の見直し及び広報の充実

- ・ 優秀な学生確保のための入試制度や広報戦略の見直し

##### （4）学生支援の充実

- ・ 学生支援等の充実

#### 2 研究

##### （1）地域課題の解決や社会の要請に応える研究の推進

- ・ 市内企業等との共同研究の推進
- ・ 低炭素技術開発や新エネルギー開発等の先端的研究の推進

##### （2）研究成果の還元

- ・ 社会実装に向けた研究・技術開発の推進

##### （3）外部研究費の獲得に向けた研究の支援

- ・ 科研費獲得教員へのインセンティブ

### 3 地域（社会）貢献

#### （1）シンクタンク機能の強化

- ・大学のシンクタンク機能の強化

#### （2）SDGs 未来都市への貢献

- ・市や企業と連携した取組みの推進
- ・教育・研究面等での先進的な取組内容を積極的に発信

#### （3）リカレント教育の推進

- ・社会ニーズを踏まえたリカレント教育の推進

#### （4）地元就職率の向上

- ・地元就職支援の取組み

#### （5）大学間連携等の推進

- ・他大学との連携（大学等連携推進法人等）の検討
- ・産業界や市との連携の強化

### 第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

#### 1 大学ガバナンスの強化

- ・学長のリーダーシップに基づく大学マネジメント
- ・内部統制のさらなる機能化

#### 2 学内の資源配分の最適化

- ・両キャンパスを一元的に捉えた資源配分の最適化

### 第4 財務内容の改善に関する事項

#### 【健全な財務運営】

- ・外部資金の継続的な獲得
- ・卒業生や関係者等からの寄附金の充実等の財源の多元化の推進

### 第5 自己点検・評価、情報提供等に関する事項

#### 【情報の公表を通じた地域社会との連携の強化】

- ・自己点検・評価の適切な実施と大学の取組みの積極的な情報発信

### 第6 その他業務運営に関する重要事項

#### 【デジタル化の推進】

- ・デジタル技術の活用による業務の効率化や機能強化を推進

#### 【法令遵守の徹底】

- ・研究費不正防止の取組み等

#### 【教員の多様性の向上】

- ・教育・研究力に優れた若手、女性等の教員の積極的な採用や登用等